

授業科目 NO. 806 助産診断技術学Ⅲ (産褥期・新生児期)

Midwifery Diagnosis and Skills III
(Puerperium and Neonatal Periods)

授 業 の 形 態 : 講義

単位数 (時間数) : 2 単位 (30 時間)

開講年次・学期 : 3 年次・後期

必修・選択の別 : 選択・助産師選択コース必修

キ ー ワ ー ド : 産褥期、新生児期、助産診断、助産ケア、母乳育児支援

1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 修 目 標

1) 一般目標 (GIO)

正常及び異常な経過にある褥婦・新生児の特徴や変化を踏まえ、産褥期及び新生児期の助産診断と助産ケアに必要な知識を修得する。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 褥婦及び新生児の助産診断ができる。(①②③)
- (2) 褥婦・新生児の特性や個別性を考慮したケアを立案することができる。(①②③)
- (3) 母乳育児支援に必要な知識を修得できる。(②)

3 学 修 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	50%
実習成績	
レポート	50%
授業態度	
小テスト	
口頭試問	
その他	
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：山崎 智里

准教授 山崎 智里 (母性看護学・助産学)
 嘱託准教授 北濱 まさみ (母性看護学・助産学)
 助教 須藤 久実 (母性看護学・助産学)
 助教 大嶋 舞香 (母性看護学・助産学)
 助手 土合 しおり (母性看護学・助産学)
 助手 丸山 早紀 (母性看護学・助産学)

6 教育担当者の実務経験

担当教員は助産師としての実務経験を有している。

7 教科書

- 1) 江藤宏美 (編) : 助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア、日本看護協会出版会
- 2) 小林康江編 : 助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会
- 3) 北川眞理子、内山和美 (編) : 今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程、南江堂
- 4) 水野克己 : 改訂第3版 よくわかる母乳育児、へるす出版

8 推薦参考書

- 1) 我部山キヨ子、藤井知行 (編) : 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩期・産褥期、医学書院
- 2) 石井邦子、廣間武彦 (編) : 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ〔3〕新生児期・乳幼児期、医学書院
- 3) 水野克己 (著) : 母乳育児支援講座、南山堂

- 4) 公益法人 日本産科婦人科学会、公益法人 日本産婦人科医会(編)：産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023、公益法人 日本産婦人科学会事務局
- 5) 病気が見える Vol.10 産科、Medic Media

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学習内容

- 1) 授業 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 180 分程度必要である。
- 2) ウィメンズヘルス看護学で学修した看護過程展開を見直し、産褥期・新生児期に関する知識の復習を行っておくこと。また、助産診断立案過程では、教科書、推薦参考書等を基に幅広い知識を得ることが必要である。学修内容はノートにまとめ、理解できない内容については、授業時に教員の指導を受けて学修を進めること。また、学修の進め方や内容については授業毎に説明する。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

レポートは、作成過程及び提出後に直接コメントしてフィードバックする。

11 履修上の注意事項

- 1) しっかりと準備学修をして授業に臨むこと。
- 2) レポートは、主体的かつ積極的に教員の指導を受け、計画的に作成すること。
- 3) 作成したレポートは、実習時に活用するので整理しておくこと。
- 4) 授業時にはパソコンを持参すること。

12 オフィスアワー等

質問は随時可。ただし事前にメール連絡等することが望ましい。

山崎 E-mail : chisasa@kanazawa-med.ac.jp

北濱 E-mail : kitahama@kanazawa-med.ac.jp

須藤 E-mail : kumi-s@kanazawa-med.ac.jp

大嶋 E-mail : ma11@kanazawa-med.ac.jp

第3学年

助産診断技術学Ⅲ
(産褥期・新生児期)

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	11月07日(金)	1	講義	産褥期・新生児期の助産診断		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	2	11月07日(金)	2	講義	母乳育児支援		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	3	11月14日(金)	1	講義	褥婦及び新生児の助産診断：情報の分析と解釈1	ケーススタディ グループワーク	母性看護学・助産学	山崎准教授,土合助手
後	4	11月14日(金)	2	講義	褥婦及び新生児の助産診断：情報の分析と解釈2	ケーススタディ グループワーク	母性看護学・助産学	山崎准教授,丸山助手
後	5	11月21日(金)	1	演習	褥婦及び新生児の助産診断：情報の分析と解釈3		母性看護学・助産学	山崎准教授,土合助手
後	6	11月21日(金)	2	演習	褥婦及び新生児の助産診断：情報の分析と解釈4	レポート	母性看護学・助産学	山崎准教授,丸山助手
後	7	12月26日(金)	1	演習	褥婦及び新生児の助産診断：診断とケア目標・ケア計画1		母性看護学・助産学	山崎准教授,土合助手
後	8	12月26日(金)	2	演習	褥婦及び新生児の助産診断：診断とケア目標・ケア計画2	レポート	母性看護学・助産学	山崎准教授,丸山助手
後	9	1月09日(金)	1	演習	褥婦及び新生児の助産診断：診断とケア目標・ケア計画3		母性看護学・助産学	山崎准教授,土合助手
後	10	1月09日(金)	2	講義	褥婦及び新生児の助産診断：まとめ	レポート	母性看護学・助産学	山崎准教授,丸山助手
後	11	1月16日(金)	1	講義	褥婦に必要な保健指導：計画立案1		母性看護学・助産学	北濱准教授
後	12	1月16日(金)	2	講義	褥婦に必要な保健指導：計画立案2		母性看護学・助産学	北濱准教授,須藤助教,大嶋助教
後	13	1月23日(金)	1	講義	褥婦に必要な保健指導：計画立案3		母性看護学・助産学	北濱准教授,須藤助教,大嶋助教
後	14	1月23日(金)	2	講義	褥婦に必要な保健指導：計画立案4		母性看護学・助産学	北濱准教授,須藤助教,大嶋助教
後	15	1月30日(金)	1	講義	褥婦に必要な保健指導：まとめ	発表/レポート	母性看護学・助産学	北濱准教授,須藤助教,大嶋助教